

寒中お見舞い

投稿日：2015年1月20日 | カテゴリー：看護部ブログ

寒中お見舞い申し上げます。

新年のご挨拶が、大変遅くなりました。

今年は未年です。羊は性格が善く、温和で協調性に富み、発展の要素を強くもっており、縁起の良い動物といわれています。この縁起の良い羊に肖って、看護部は「信頼と感動の看護」をめざして、さらに発展するよう頑張って参りますので、ご支援よろしく願いいたします。

インフルエンザが流行しています。インフルエンザ予防の基本は、「手洗い」と「咳エチケット」です。日常的な感染予防をしっかりと行い、みんなで乗り越えていきましょう！

1月も早いもので、今日は大寒です。厳冬に耐えた桜が美しい花を咲かせるように、看護を取り巻く状況は厳しいですが、職員には苦難があっても、ひたむきに自身の花をみごとに咲かせてほしいと願っています。

ウールのセーターが人を温かくくるむように、皆さまにとって心が暖かくなる、素晴らしい年になることを心よりお祈りいたします。

(副院長兼看護部長 藤原久仁子)